



うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~8	1. 播種量(うす播き励行) 2. 育苗日数(健苗育成) 3. 植付本数(細植え励行) 4. 栽植密度(優良茎確保) 5. 適正な施肥(栄養凋落防止と登熟向上) 6. 田植え時期(早植え防止) 7. 中干し・溝切り(遅発分げつ抑制) 8. 除草・防除(畦畔等除草・カメムシ防除徹底)	
9	水管理(飽水管理の徹底) ・中干し後から出穂までの約1か月(コシヒカリ)の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの1か月以上の飽水管理	
10	刈取時期(適期刈取りの励行) ・籾の黄化程度に応じた刈取り	

適期に刈って胴割粒の発生を防止!

農作業を行う際は熱中症に十分注意しましょう!

今月のポイント1 適期刈取に努めましょう。⇒営農の手引き44ページも参照ください。

## <ゆめみづほの刈取適期>

### 予想刈取適期

# 8月18日~21日

登熟積算気温(高温登熟年) 900~950℃ 籾黄化率 80% 籾水分 25%

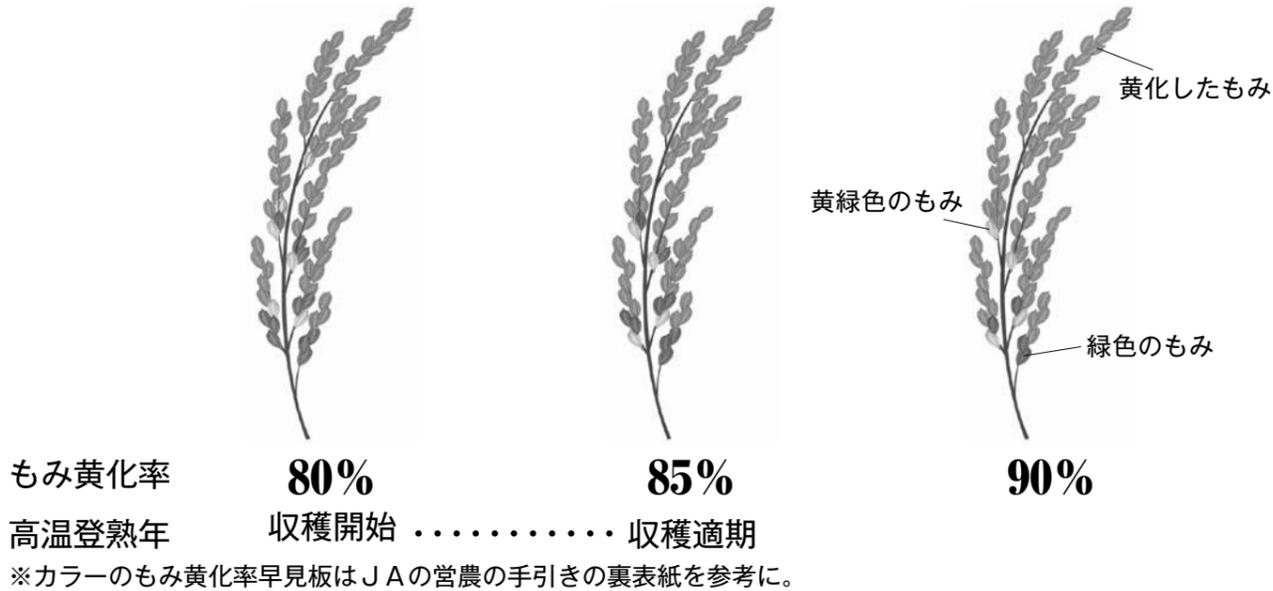
(注) 登熟積算気温: 出穂してからの日平均気温の合計

予想刈取適期はあくまで目安であり、実際の刈取にあたっては籾の黄化程度や水分を確認して刈取適期を判断しましょう

- ① 今年のゆめみづほの成熟期はばらつきがあり、一部では前年よりやや早くなっております。
- ② 今後も気温がかなり高く推移する予報が出ております。胴割粒や乳白粒が発生しないように、適期刈取が必要です。

## 適期収穫のためのもみ黄化率早見板

もみの黄化率を見て収穫適期を判定し、胴割粒などの被害粒の発生を防止、品質の良い石川米づくりを進めましょう。



- ③ 出穂後の通水が不十分な圃場では、籾黄化率が85%程度でも籾水分が極端に低下し、立毛中の胴割粒が発生しやすくなります。従って、このような圃場では刈り遅れにならないように特に注意し、別途刈取調整を心がけましょう。

今月のポイント2 コシヒカリの胴割粒、乳白粒発生防止に努めましょう。

- ・コシヒカリは刈取5日前までこまめに通水(1~3日おき)をし、胴割粒や乳白粒の発生防止に努める。
  - ・フェーン時は水分の蒸散が多いので、事前に入水する。
- ※今年は降水量が少なく、水不足が予想されますので、可能な範囲で取り組みましょう。

裏面に続きます

